



---

## Elémentaire Leçon17-2 (初級 17-2)

---

S' il ne pleuvait pas, j' irais au parc.

(雨でなければ公園に行けたのに 17-2)



L' objectif de cette leçon (このレッスンの目的)

- ・【話法の転換】について学習します。
- ・単語学習では、【動物に関する単語】について学習します。

## Partie 1 ~ La conversation (会話) ~

### ※Révisions de la partie 1 de l'élémentaire 17 (初級 17、会話の復習)

講師が「★1 (lisez étoile un)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。  
(先に講師が読む場合があります。その場合は、講師の発音をしっかり聞き、リピートしましょう。)

Eric : ★1 *Ah, s'il ne pleuvait pas, j'irais au parc.*

Suzanne : ★2 *Ne sois pas déçu. Papa t'emmènera à l'aquarium.*

*Maman a demandé à papa s'il pouvait t'y emmener.*

Eric : ★3 *C'est vrai?*

*(Eric va au salon)*

Eric : ★4 *Suzanne a dit que papa allait m'emmener à l'aquarium.*

Carole : ★5 *Ah, tu avais déjà entendu.*

Eric: あーあ、雨が降ってなければ公園に行けたのにな。

Suzanne: がっかりしないの。パパが水族館に連れて行ってくれるわよ。  
ママがパパにあなたを連れていけないかって聞いてたわ。

Eric: ほんと？  
(エリックはリビングに行き...)

Eric: パパが水族館に連れて行ってってくれるってスザンヌが言ってた！

Carole: まあ、もう聞いたの。

## Partie2 ~ Grammaire (文法) ~

【話法の転換】について学習します。

文法に関する説明は、事前に読んで学習し理解しておきましょう。

講師が「★6 (lisez, étoile, six)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。  
その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。

### 話法の転換 discours direct et discours indirect

Aさんが「私は明日、日本に着くでしょう」と言ったことを翌日にBさんが第三者に伝える場合、

① 昨日 Aさんは「私は明日、日本に着くでしょう」と言いました。(直接話法)

例: Hier, A a dit: «Je arriverai au Japon demain.»

② 昨日 Aさんは、Aさんが今日日本に着く、と言いました。(間接話法)

例: Hier, A a dit qu'il arriverait au Japon aujourd'hui.

の2種類の言い方をすることができます。この変換を、話法の転換と言います。

### 平叙文での話法の転換と時制の一致 phrase énonciative

直接話法から間接話法にする場合、接続詞 que を用いて2つの文を繋げます。

**主語+ dire: «●●●.» → 主語+ dire + que ●●●.**

ここで従属節(●●●)で表される主語やその他の人物は、話し手 B から見た関係(私→彼女)となり、時や場所を表す副詞は話し手 B から見た時や場所(今日→その日 etc)となります。

例: ★6 Il me dit : «J'ai vu ton père ici.» (彼は私に言います「ここで、僕は君のお父さんを見たよ」)

→★7 Il me dit qu'il a vu mon père là-bas. (彼はそこで私の父を見た、と彼は私に言います。)

◆「dire(言う)」という行為が過去時制(複合過去、半過去)の場合、従属節の動詞は時制の一致が必要になります。

#### 【時制の一致のルール】

◆従属節が現在形の場合、半過去にします。

例: ★8 Il m'a dit: «Je suis français.» (彼は私にこう言った「私はフランス人だ」)

→★9 Il m'a dit qu'il était français. (自分がフランス人であると、彼は私に言った。)

◆従属節が複合過去の場合、大過去にします。

例: ★10 Il m'a dit: «Mon père a acheté un bouquet pour ma mère.»

(彼は私にこう言った「私の父は母に花束を買った」)

→★11 Il m'a dit que son père avait acheté un bouquet pour sa mère.

(彼のお父さんはお母さんに花束を買った、と彼は私に言った。)

◆従属節が**単純未来の場合、条件法現在**にします。

例: ★12 Il a dit à ses parents: «J'irai à Paris demain.»

(彼は両親にこう言った「俺は明日、パリに行くだろう」)

→★13 Il a dit à ses parents qu'il irait à Paris le lendemain

(翌日パリに行くだろう、と彼は両親に言った。)

◆従属節が**前未来の場合、条件法過去**にします。

例: ★14 Il m'a dit: «Je serai sorti quand vous viendrez chez moi.»

(彼は私にこう言った「君たちが僕の家に来るときは外出しているだろう」)

→★15 Il m'a dit qu'il serait sorti quand nous viendrions chez lui.

(私たちが彼の家に行く時、自分は外出しているだろう、と彼は私にいった。)

◆従属節が**半過去、大過去、条件法の場合、時制の一致はありません。**

例: ★16 Il m'a dit: «Mon père achetait un bouquet pour ma mère.»

(彼は私にこう言った「父は母に花束を買っていた。」)

→★17 Il m'a dit que son père achetait un bouquet pour sa mère.

(彼のお父さんはお母さんに花束を買っていた、と彼は私に言った。)

◆話法の転換に伴い、場所や時間も転換が必要になります。

よく使われる表現をまとめましたので、左から順に発音練習しながら覚えていきましょう。

直接話法 → 間接話法

★18 ici (ここ) → là / là-bas (そこ)

★19 maintenant (今) → à ce moment-là / alors (その時)

★20 ce matin (今朝) → ce matin-là (その日の朝)

★21 aujourd'hui (今日) → ce jour-là (その日)

★22 hier (昨日) → la veille (前日)

★23 demain (明日) → le lendemain (翌日)

★24 dans trois jours (今から3日後) → trois jours après / trois jours plus tard (3日後)

★25 il y a trois jours (今から3日前) → trois jours avant / trois jours plus tôt (3日前)

★26 lundi prochain (今度の月曜) → le lundi suivant (次の月曜)

★27 l'année prochaine (来年) → l'année suivante (翌年)

★28 mardi dernier (この前の火曜) → le mardi précédent (その前の火曜)

★29 le mois dernier (先月) → le mois précédent (その前の月)

★30 【練習問題～Exercices～】

講師が平叙文の直接話法の文を言います。間接話法に言い換えてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例: (講師) Il m'a dit: «Je suis français.»

→ (生徒) Il m'a dit qu'il était français.

疑問文の話法の転換 phrase interrogative

疑問文は直接話法においても、間接話法においても英語の ask に相当する、demander (尋ねる) という動詞を使います。

疑問文の話法の転換においても、demander が過去時制の場合、時制の一致が起こります。(時制の一致のルールは平叙文の項目参照)

●疑問詞を用いない疑問文

主語+ demander: <<疑問文?>> → 主語+ demander + si 平叙文の語順.

●疑問詞を用いた疑問文

主語+ demander: <<疑問詞 + 疑問文?>> → 主語+ demander + 疑問詞+平叙文の語順

※但し、疑問詞が<<qu'est-ce qui>>の場合は<<ce qui>>

<<que もしくは qu'est-ce que>>の場合は<<ce que>> となります。

例: ★31 Il m'a demandé :<<Vous avez pris votre petit déjeuner?>>

(彼は私に尋ねました「朝食を召し上がりましたか?」)

→★32 Il m'a demandé si j'avais pris mon petit déjeuner.

(朝食を食べたか、と彼は私に尋ねました。)

例: ★33 Il m'a demandé :<<Qui est ce jeune homme?>>

(彼は私に尋ねました「あの青年は誰ですか?」)

→★34 Il m'a demandé qui était ce jeune homme.

(あの青年が誰か、と彼は私に尋ねました。)

例: ★35 Il m'a demandé :<<Qu'est-ce que vous faites comme travail?>>

(彼は私に尋ねました「あなたのお仕事は何ですか?」)

→★36 Il m'a demandé ce que je faisais comme travail.

(私の仕事は何か、と彼は私に尋ねました。)

★37 【練習問題～Exercices～】

講師が疑問文の直接話法の文を言います。

間接話法に言い換えてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例: (講師) Il m'a demandé :<<Vous avez pris votre petit déjeuner?>>

→(生徒) Il m'a demandé si j'avais pris mon petit déjeuner.

命令文の話法の変換 phrase impérative

一般的に、「～なさい・しろと言う」という命令を表す場合は dire、「～して下さいと頼む」という依頼の場合は demander(英語の ask に相当)が使われます。

●疑問詞を用いない疑問文

主語+ dire または demander: <<命令文.>> → 主語+ dire または demander + de+不定詞

~:

例: ★38 Il a dit à son fils :<<Range ta chambre.>>

(彼は息子に言いました「部屋を片付けなさい。」)

→★39 Il a dit à son fils de ranger sa chambre.

(部屋を片付けろ、と彼は息子に言いました。)

例: ★40 Il m'a demandé :«Appelez un taxi»  
 (彼は私に頼みました「タクシーを呼んでください」)

→★41 Il m'a demandé d'appeler un taxi.  
 (彼は私に、タクシーを呼んでくれ、と頼んだ。)

例: ★42 Il m'a demandé :«Réponds-moi aussitôt que possible»  
 (彼は私に頼みました「できるだけ早く返事をください」)

→★43 Il m'a demandé de lui répondre aussitôt que possible.  
 (できるだけ早く返事をくれ、と彼は私に頼んだ。)

★44 【練習問題～Exercices～】

講師が命令文の直接話法の文を言います。

間接話法に言い換えてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例: (講師) Il a dit à son fils :«Range ta chambre.»

→(生徒) Il a dit à fils de ranger sa chambre.

## Partie3 ～ Leçon de vocabulaire (単語学習) ～

### 動物に関する単語を覚えましょう！

動物は、動物の性により名詞の性が変わりますが、一部には男性形もしくは女性形のみ動物もいます。また、子どもの動物は、多くが男性名詞です。

| 日本語    | オス                | メス               | 子～                 |
|--------|-------------------|------------------|--------------------|
| ゴリラ    | ★45 un gorille    |                  |                    |
| サイ     | ★46 un rhinocéros |                  |                    |
| 猿      | ★47 un singe      | ★48 une guenon   |                    |
| 鹿      | ★49 un cerf       | ★50 une biche    | ★51 un faon        |
| シマウマ   | ★52 un zèbre      |                  |                    |
| 象      | ★53 un éléphant   |                  | ★54 un éléphanteau |
| チンパンジー | ★55 un chimpanzé  |                  |                    |
| トナカイ   | ★56 un renne      |                  |                    |
| 虎      | ★57 un tigre      | ★58 une tigresse |                    |
| 猫      | ★59 un chat       | ★60 une chatte   | ★61 un chaton      |

## Partie4 ～ 練習問題 (Exercices) ～

A : 以下の日本語を、フランス語にして読みましょう。講師が *écrivez* と言った場合は、チャットにスペルを記入しましょう。

- ★62 Anne は私たちに、翌日にパリへ発つだろう、と言いました。
  - ★63 彼は僕に、僕が日本人か、と尋ねました。
  - ★64 彼女は何も言わなかった。
  - ★65 Clara にこの本を読ませるようになって Allemand 先生(Monsieur)が言っていたわ。※読む lire
  - ★66 (Mr.A) Abel は昨日君に何て言った？  
(Mr.B)あなたが家に居る時にまた来るって言ってましたよ。 ※また来る revenir
  - ★67 君は Sophia にいつパリに着くのか聞いたかい？
  - ★68 できるだけ早く来てほしい、と彼は私に頼みました。
  - ★69 B: 講師がこれからフランス語で質問します。フランス語で答えてみましょう。  
※難しい場合は *écrivez* と言い、チャットに記入された文を見ながら考えてみましょう。
- 
- ★70 C: 講師がこれから言う単語や文章を聞き取り、チャットに書いてください。講師が正解とつづりをチェックします。